

2023 年度 文学部英米文学科 学科講演会のお知らせ

主催:大東文化大学 英文学会

日時:2023 年 6 月 22 日(木曜日)(午前 9:30 開場)午前 10:00 開会

(終了予定時刻:12:30 頃)

場所:東松山校舎 60 周年記念講堂

講演者:柳樂光隆氏

講演タイトル:21 世紀以降の英国ジャズ隆盛の背景を移民から読み解く

講演要旨:

2010 年代半ばから、イギリスのジャズが世界的に話題になっています。本国ではガーディアン紙、アメリカでも NY タイムスなどが大きく取り上げたこともありましたが、最近でもコーチェラやグラストンベリー、フジロックといった世界屈指の音楽フェスにもイギリスのジャズ・ミュージシャンが出演するようになっています。

そんな現在のイギリスのジャズと、ジャズ・ミュージシャンたちが関わっている音楽の特徴はアフリカや西インド諸島からの移民の子供たちが中心になっていることで、その背景が音楽にも直接的に関係しています。そして、イギリスには彼らをサポートする様々な仕組みがあり、それが移民の子供たちが自分たちのアイデンティティを音楽に反映させながら、活躍できる状況を育てています。

私は 2010 年代から多くのイギリス人ジャズ・ミュージシャンや教育系の団体のスタッフなどに取材を重ねています。この講義では 80 年代以降のイギリスのジャズの概要から、現在のジャズの状況、それを取り巻く環境や背景について、取材で得た発言や私の体験をもとにお話ししようと思います。アメリカや日本とは異なるイギリス独自のジャズが世界で注目されている理由を解説しながら、それを生んだイギリスの歴史の面白さや、イギリス文化の魅力をお伝えできたらと思います。

柳樂光隆氏プロフィール

1979 年、島根県出雲市生まれ。音楽評論家、DJ、ラジオパーソナリティ。21 世紀以降のジャズをまとめた世界初のジャズ本「Jazz The New Chapter」シリーズ監修者。共著に鼎談集『100 年のジャズを聴く』など。ブルーノートのジャズピアノ音源をまとめた『All God's Children Got Piano』、スナーキー・パピーのレーベルの音源を集めた『GROUNDUP MUSIC × CORE PORT』など、コンピレーション CD の選曲も多数。